

2025年8月4,5日 SSH国内研修（関東方面）

本校では最先端の研究を行っている施設等を訪ね、その研究内容について学ぶとともに、自然科学分野における視野を広げる機会とすることを目的として、毎年夏休みに国内の大学や研究所、博物館等を見学する「国内研修」を実施しています。

関東方面の研修は、8月4日（月）から5日（火）にかけて実施しました。まず東京大学に行き、東京大学総合研究博物館を見学し、キャンパス内を現役東大生（伊勢高校卒）に案内してもらいました。生徒たちは、大学の敷地の広さ、初めて感じる研究機関の雰囲気刺激を受けたようです。次に東京科学大学湯島キャンパスを訪れ、大学の概要と研究内容に関する講義を受けました。1時間という短い時間でしたが、医学部の教授が研究者かつ医師として臨床と研究を往還させていること、口腔外科の手術の様子、入試のしくみ等のお話を聞き、充実した研修となりました。夜は関東在住の大学生・大学院生（伊勢高校卒）と本校生徒が座談会を行いました。生徒たちは休憩時間も惜しんで受験勉強や生活習慣のことを質問し、しおりのページいっぱいメモをとっていました。

2日目は、朝から猛暑の中ゆりかもめに乗り、お台場の日本科学未来館に行きました。体験型の常設展で最先端の科学に触れるだけでなく、ドームシアターでISS（国際宇宙ステーション）のドキュメンタリーを観たり、特別展『深宇宙展』で日本や世界の宇宙開発について学んだりした生徒もいました。科学技術の進歩によって生活が豊かになる一方で、そこから生じる負の影響についても考えをめぐらせる機会となりました。

2日間の研修を通して、今の私たちの生活があるのは、先人たちの探究の成果であり、今この瞬間も人類の発展のために探究をしている人がいるということに、改めて気づくことができました。参加した生徒たちには、今回の貴重な経験を、自らの進路選択や今後のSSHの活動に最大限に活かして欲しいと思います。



